

六人のアーティストが音楽とパフォーマンスで浦島太郎のその後をモチーフに
起こりうる瞬間、瞬間を繋ぎ「サキの國」へ向かいます
久良岐能舞台ならではの物語をお楽しみください



森 弘一郎 Mori Koichiro パフォーミングアーティスト

1977年福岡県生まれ。日本のダンスシーンを経て渡米。その後、舞台芸術の世界を知り、北欧デンマークを中心にヨーロッパの国々へと活動の場を広げる。ダンスの枠を越え芸術的表現者として舞台芸術の道へ。劇場公演「くるみ割り人形 HIPHOP バージョン」をはじめ数々の舞台でデンマーク国内最高評価六つ星を取得。同作品では、デンマーク最高峰の劇場アワード Reumert Award において、「Reumert 賞」「Copenhagen 賞」「Danish hip hop 賞」の3部門を受賞。また、その芸術性の高さを認められ、デンマーク女王も賛辞をおくられた。そして、「くるみ割り人形 HIPHOP バージョン」は「Danish Culture Canon」児童文化部門に選ばれ、デンマークの歴史に刻まれる名誉のある作品となる。Danish Culture Canon: デンマークの文化や歴史の中で、もっとも大きな影響を与えた 108 の文化遺産。
現在、舞台・CM 出演・MV 出演を中心に、世界で活躍している。



山井 綱雄 Yamai Tsunao 金春流シテ方楽師

重要無形文化財(総合指定)保持者。(公社)能楽協会会員。(公社)金春円満井会常務理事。
1973年横浜生まれ。79 世宗家故金春信高、80 世宗家金春安明、富山禮子に師事。能楽師であった祖父の影響で5歳で初舞台、12歳で初シテ(主役)。以来数々の大曲秘曲を披演。「能舞エヴァンゲリオン」発表等、洋楽邦楽他ジャンル芸術家とのコラボレーション多数。2011年NHK大河ドラマ「江」、2016年NHK大河ドラマ「真田丸」にて能主役出演と能監修・指導を手掛ける。2014年、平成26年度文化庁文化交流使に就任、海外での日本伝統文化の普及に尽力。
2017年カナダ・バンクーバー現地作曲家オペラ歌手と能オペラ「KAYOI KOMACHI ~ komachi visited ~」を共同制作し主演、好評を博し能とオペラとの新しい可能性を開拓した。「日本のココロ」の啓蒙に奔走。現在、磯子区岡村在住。



クリストファー・ハーディ Christopher Hardy パーカッション

アメリカ出身。西洋打楽器の基礎を持ちつつ、中近東、北アフリカ、西アフリカやラテンの代表的打楽器であるハンドドラムのスペシャリストとして高い評価を得ている。その活動はルネッサンス音楽からジャズ、R&B、ヒップホップ、ポップス、現代〜ワールドミュージックなどと広く通用する語法を備え、独自の打の創造に満ちたアプローチを織り成している。これまで STING、吉井和哉、AI、UA、渡辺香津美、山下洋輔、林英哲、谷川俊太郎、加藤和彦、本田美奈子などと共演。洗足学園大学客員教授。シルク・ドゥ・ソレイユ「ZED」のミュージシャンとしてステージに参加。創作的なサウンドを展開している。



おおたか静流 Sizzle Ohtaka シンガー&ヴォイスアーティスト

七色の声を駆使し、あらゆるアートと交差しながら、無国籍ノンジャンルの道を行く。
国内外で、声と光をテーマに「Light & Shadow」と名付けた作品を発信している。
『声のお絵描き教室』主宰、声のバリエーションと可能性を追求する。
NHK E テレ「にほんごであそぼ」にレギュラー出演中。 Photo 小沢芳彦



松尾 慧 Matsuo Kei 横笛

日本の伝統的横笛(篠笛、能管、龍笛、神楽笛など)を演奏、現代邦楽の合奏や、雅楽、民俗芸能の演奏の他、ソロ、様々なアンサンブルの形で活動している。箏、三絃、琵琶などの邦楽器とのアンサンブルにとどまらず、多様な洋楽器、民族楽器とのセッション、舞踊とのコラボレーションにも取り組んでいる。能管を能楽森田流松田弘之氏に、龍笛、高麗笛、神楽笛を伶楽舎宮丸直子氏に師事。篠笛は、仲林光子氏に手ほどきを受け、竹井誠、鯉沼廣行、村山二朗各氏に、古典、現代曲、民俗芸能の笛を学ぶ。



四戸 弘幸 Shido Hiroyuki 作曲&ベース

東京都出身、
Beatles から全てが始まり、Bass 奏者、池田芳夫氏に師事、Classic と Jazz の基礎を学ぶ。
Quincy Jones の仕事の為、渡米。
東京、San Francisco, New York で、活動。
現在、Massachusetts 在住、主に作曲に専念。



beyond2020 プログラムは、多様性や国際性に配慮した文化活動・事業を政府が認証し、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けての日本文化の魅力を国内外に発信する取組です。
久良岐能舞台はこの取組を応援しています。